A large log yard with stacks of logs and a red excavator in the background. The scene is set outdoors with mountains and a clear blue sky in the distance. The foreground shows a large log with a white marking on its side. The background features a red excavator and more stacks of logs, all under a bright, sunny sky.

吉野町 奈良県フォレスターの取組

自己紹介・フォレスター制度

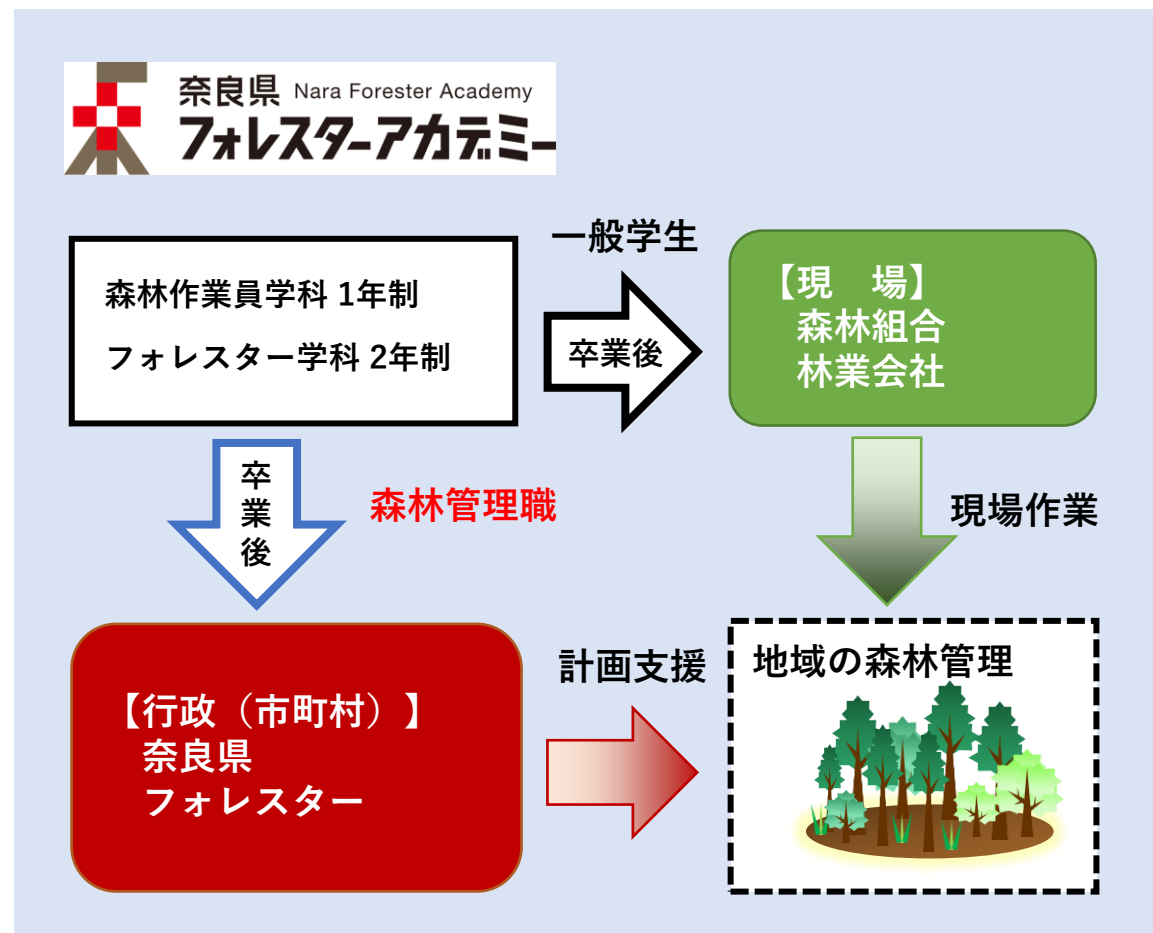


吉野町暮らし環境整備課

農林振興室 主査 森本 祐太郎

経歴

- 2009～
奈良市役所 事務職として勤務
- 2020～
奈良県庁に入庁（森林管理職）
フォレスターアカデミー研修
- 2023～
県フォレスターとして吉野町派遣



フォレスターアカデミーでの教育

◆林業技術



- チェンソー講習
- 林業機械操作
- 道づくり
- 架線搬出

◆ICT関連



- 測量基礎
- ドローン操作
- 森林GISの活用
- 森林情報のデータ化

◆森林生態等

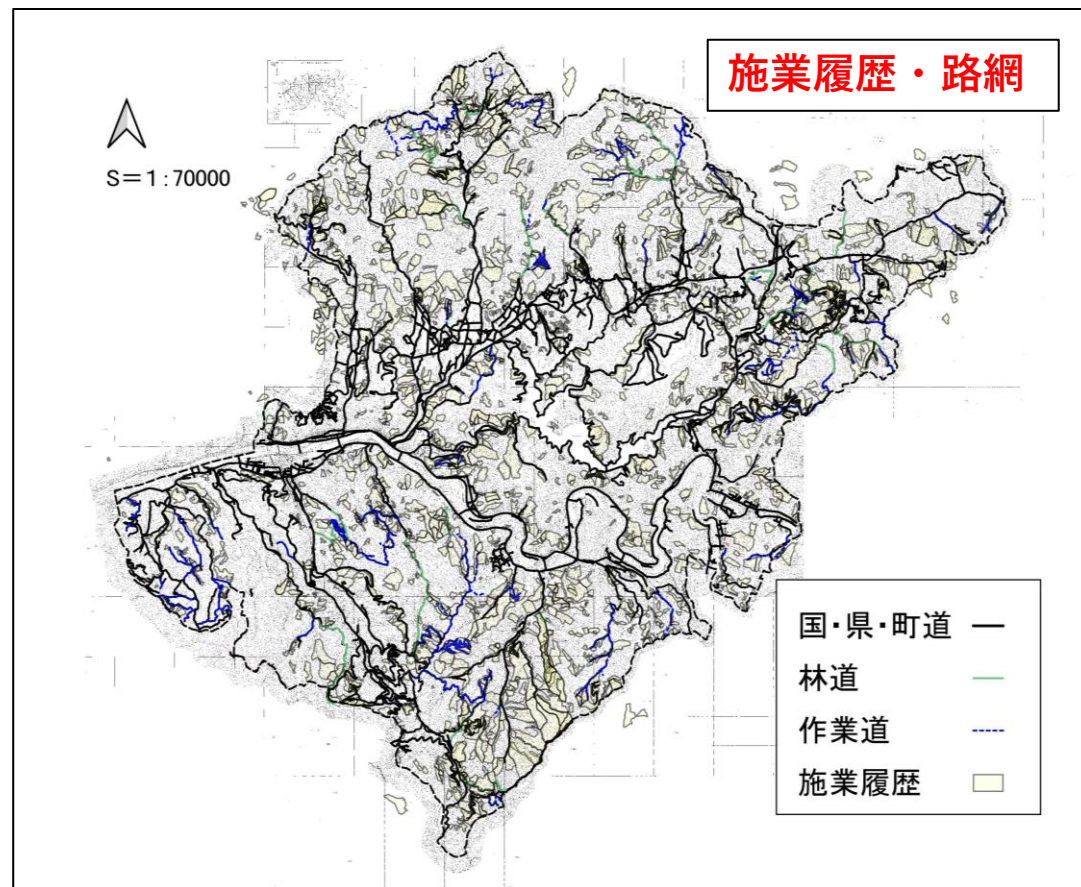
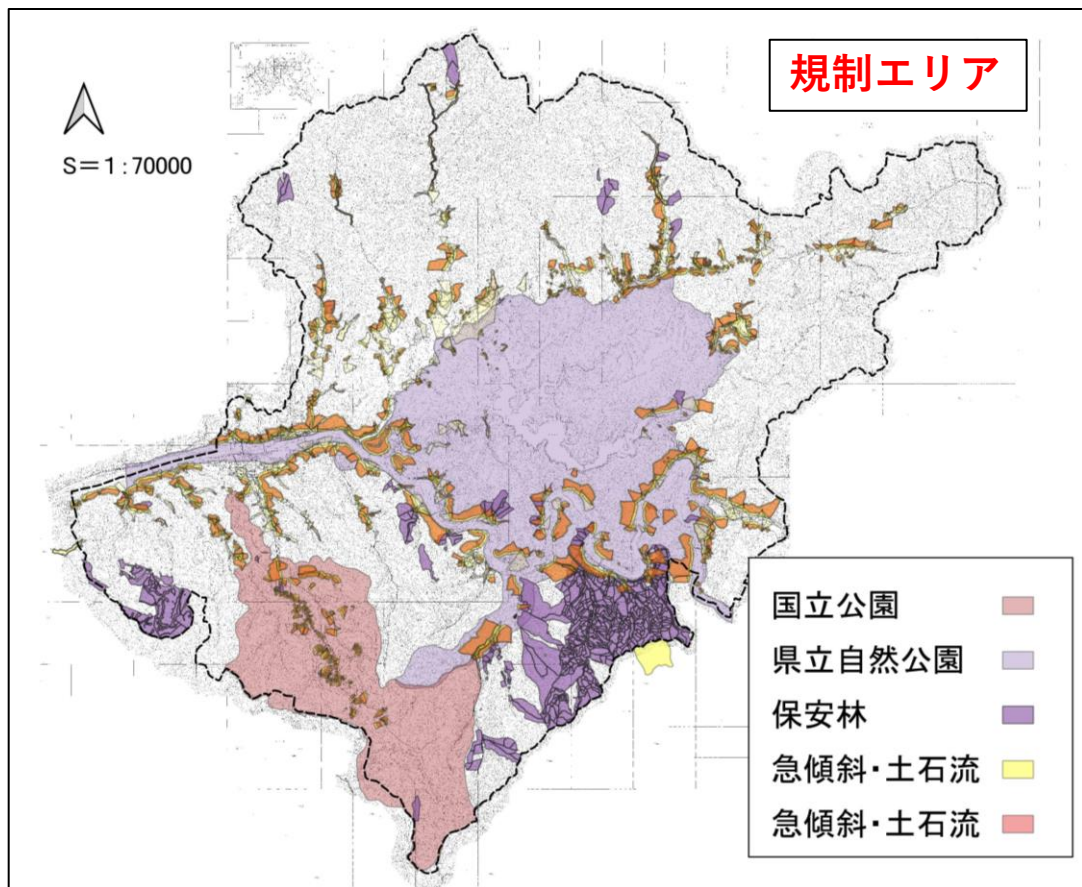


- 植物
- 動物
- 生態系
- 地質

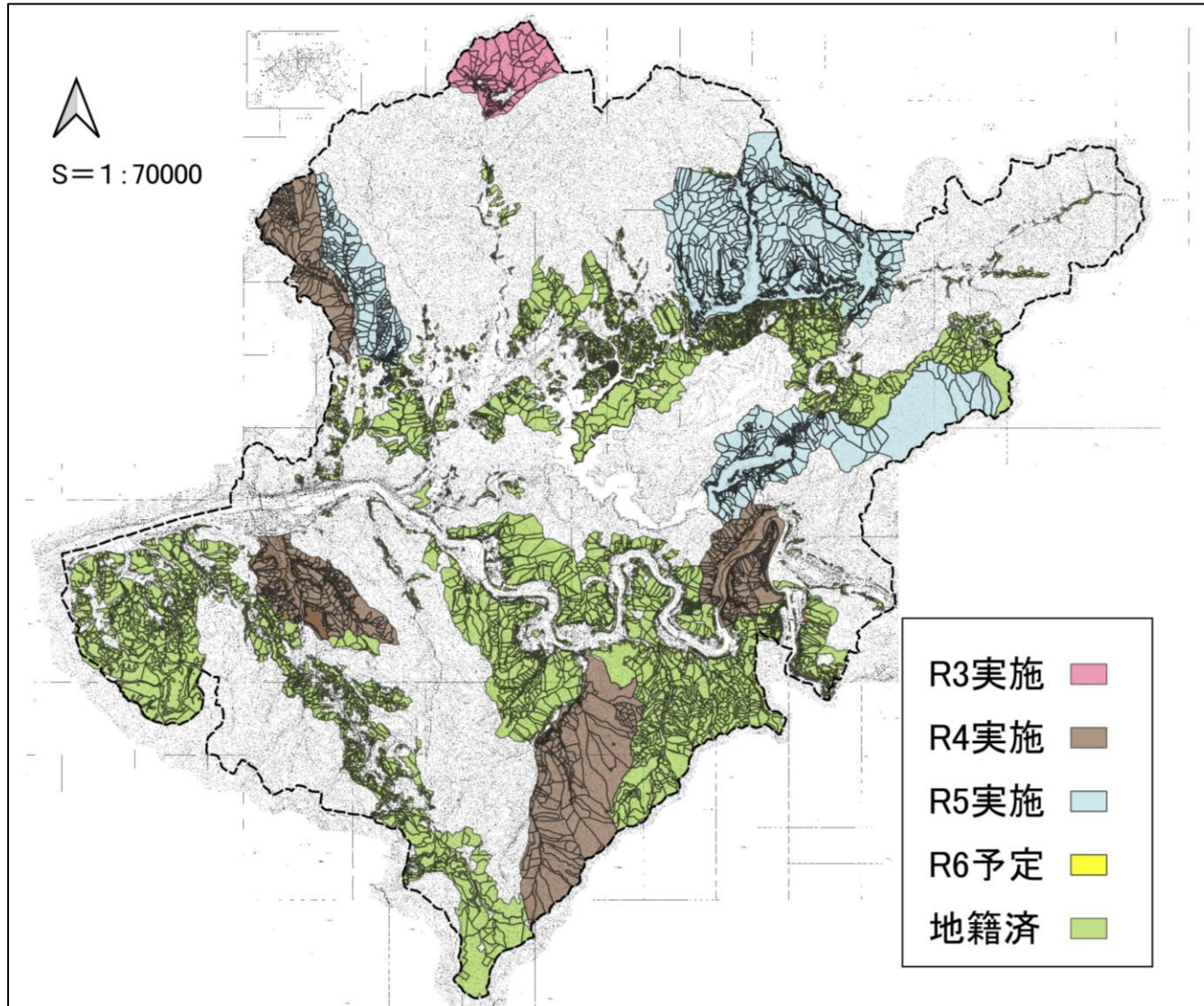
想像以上に
アカデミック
な内容もあり
ました。

吉野町での一年間の取り組み

◆森林・土地情報の一元化 地図情報システムへの取り込み



◆森林情報の整備状況（R6.2.13時点）



【山林面積】

7872.2 ha （町：9,565ha）

【管理状況】

■森林地番参考図

1642.8ha

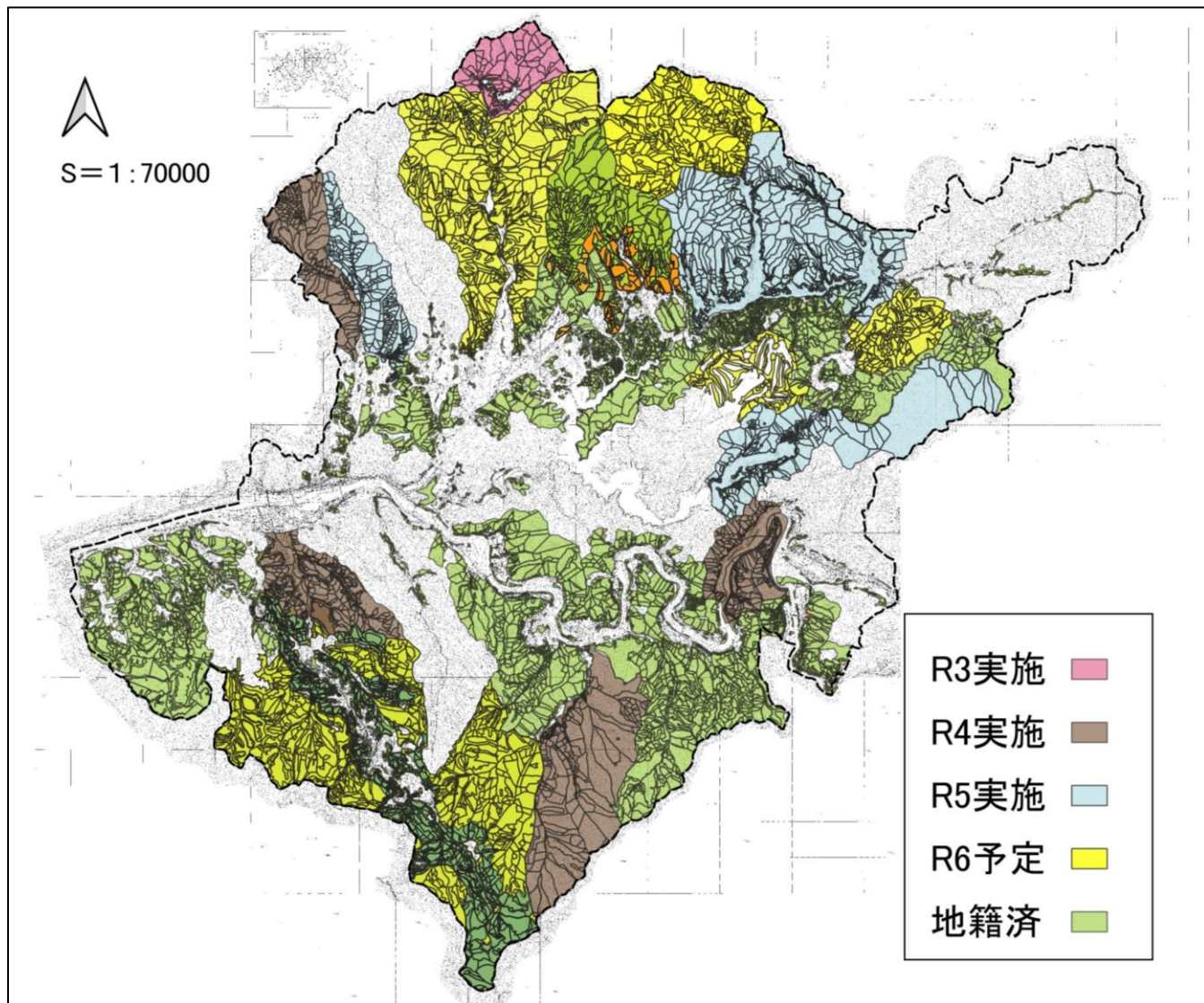
■測量図面のある区域

2382.2 ha

➤ 51.1%

@4025.0/7872.2

◆整備計画



【整備予定】

■森林地番参考図

R6 : 1,500ha

➤約70%

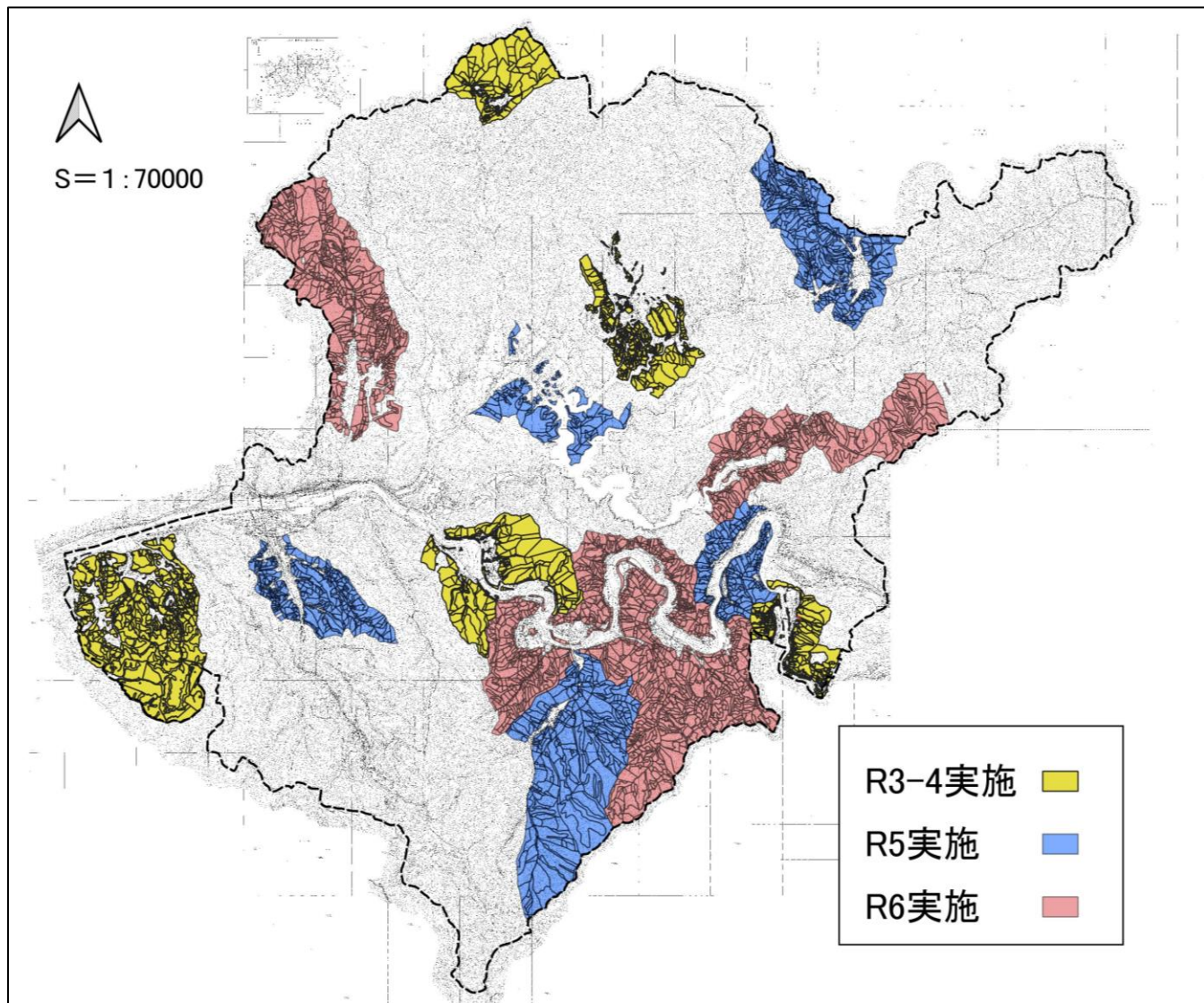
R7~8 : 1,700ha

➤完了予定

【地番参考図について】

- ・地役・地上権の情報集約
- ・参考となる地番を図上で表現できる

◆情報の活用 ～意向調査の状況～



■調査済みエリア

約1,000ha

■回収率

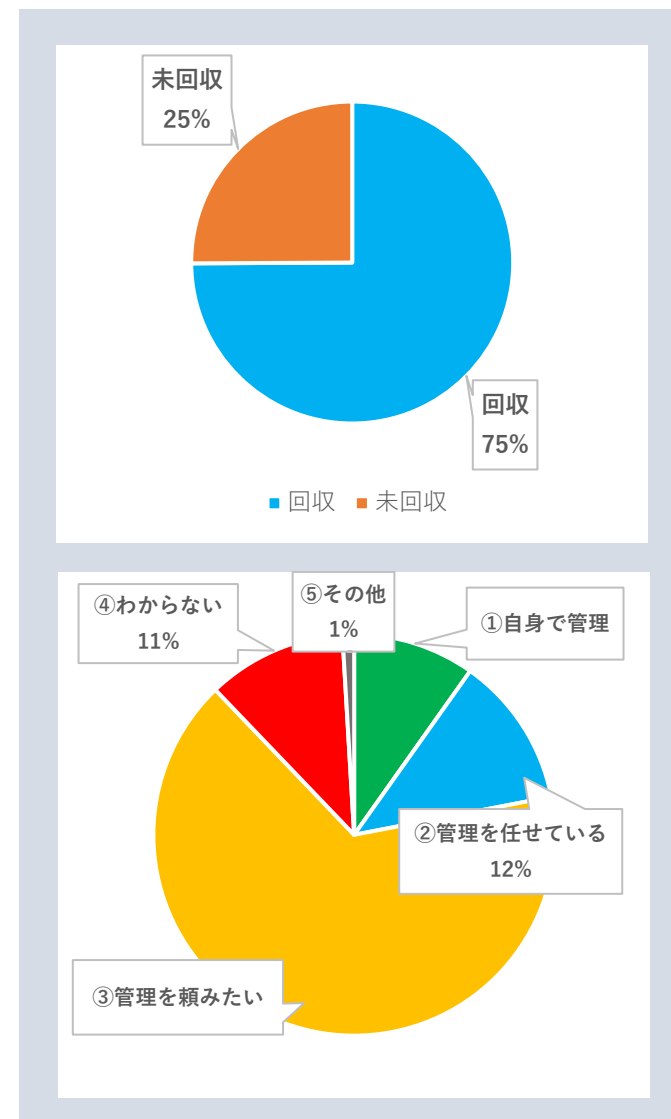
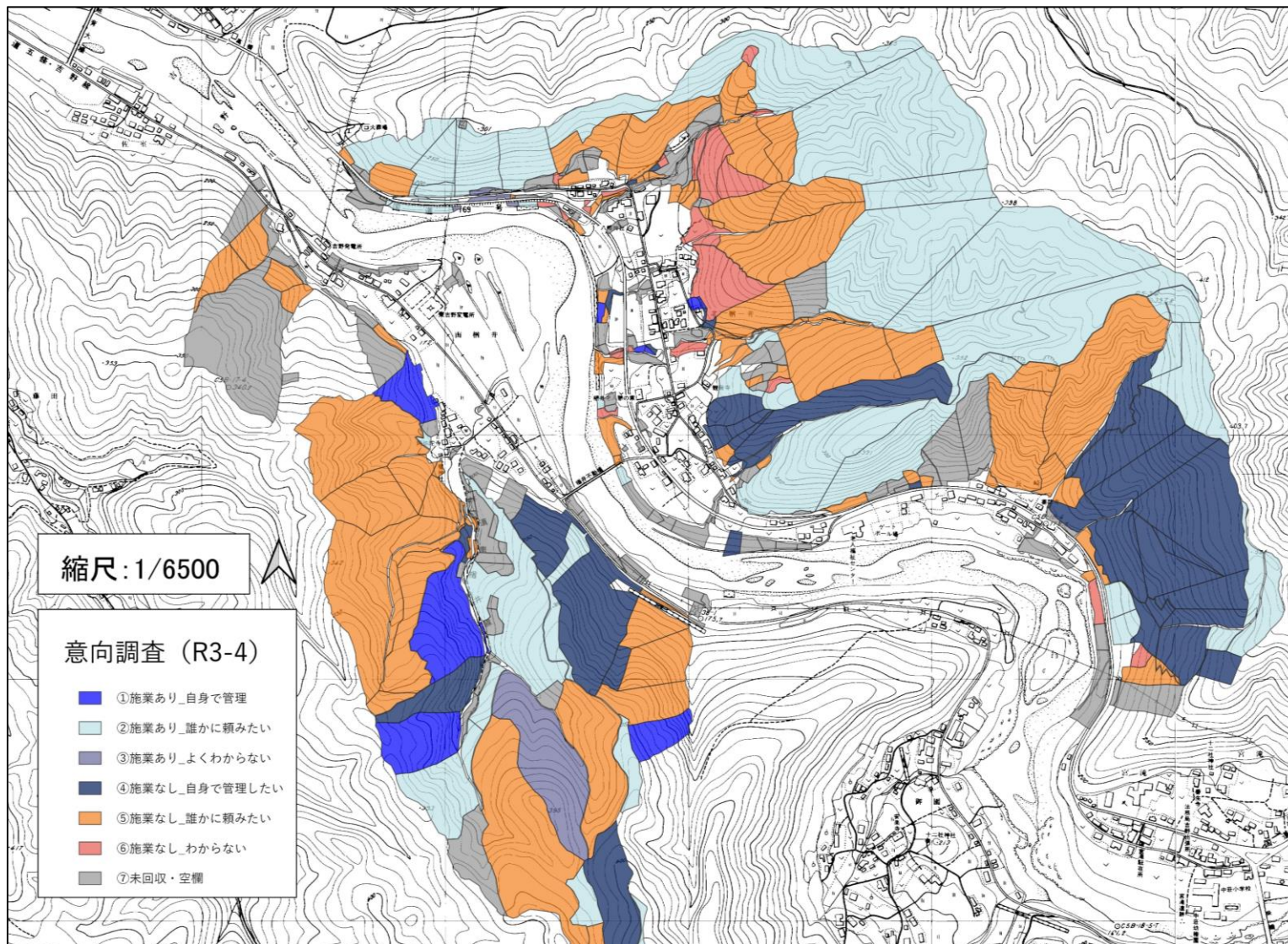
R3…約7割

R4…約6割

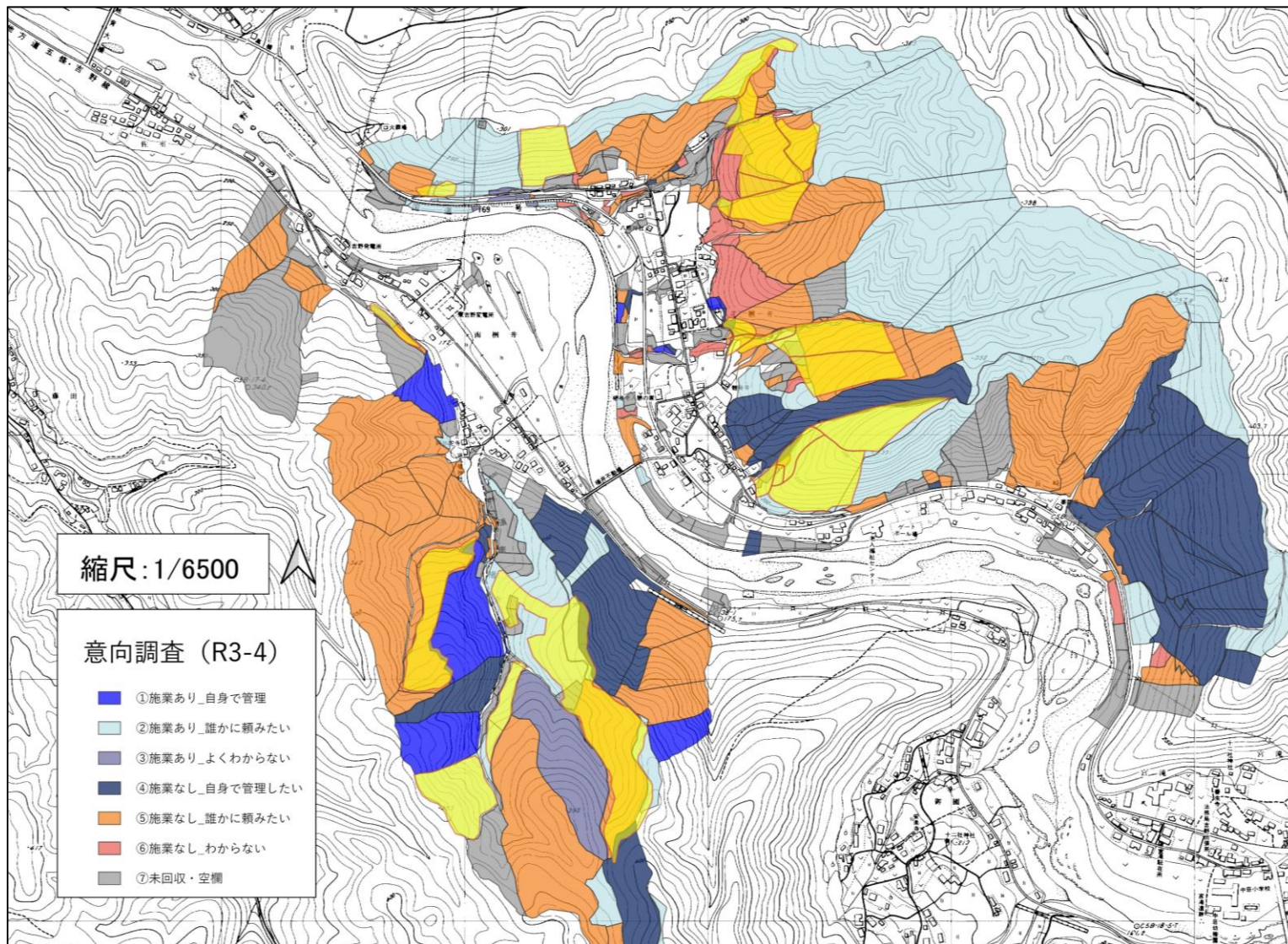
■今後

1000～1500ha/年

◆森林情報の活用状況（意向調査）



◆意向調査と公共事業の状況



【活用状況】

公共事業 (黄色枠)

放置林間伐 (切捨)

【課題・今後】

面的な整備



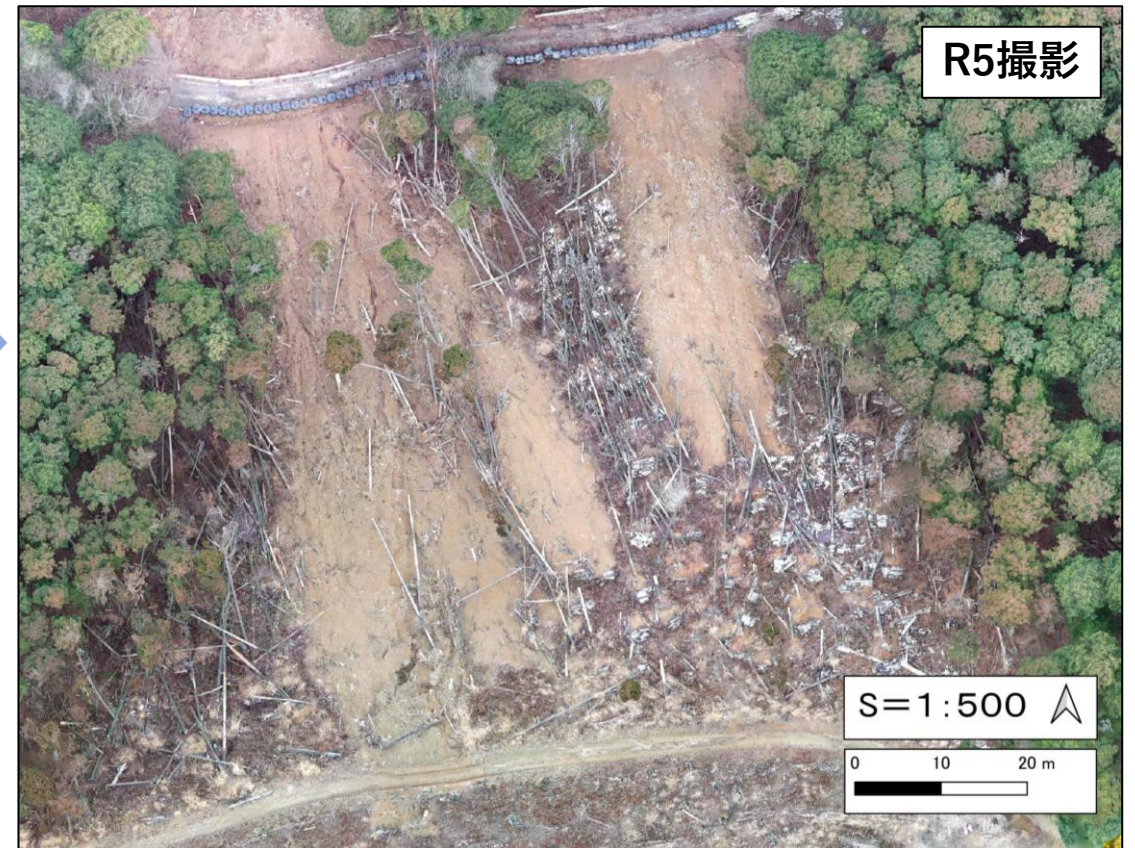
面的かつ質的に必要性
を見極めた整備



現地踏査が必要

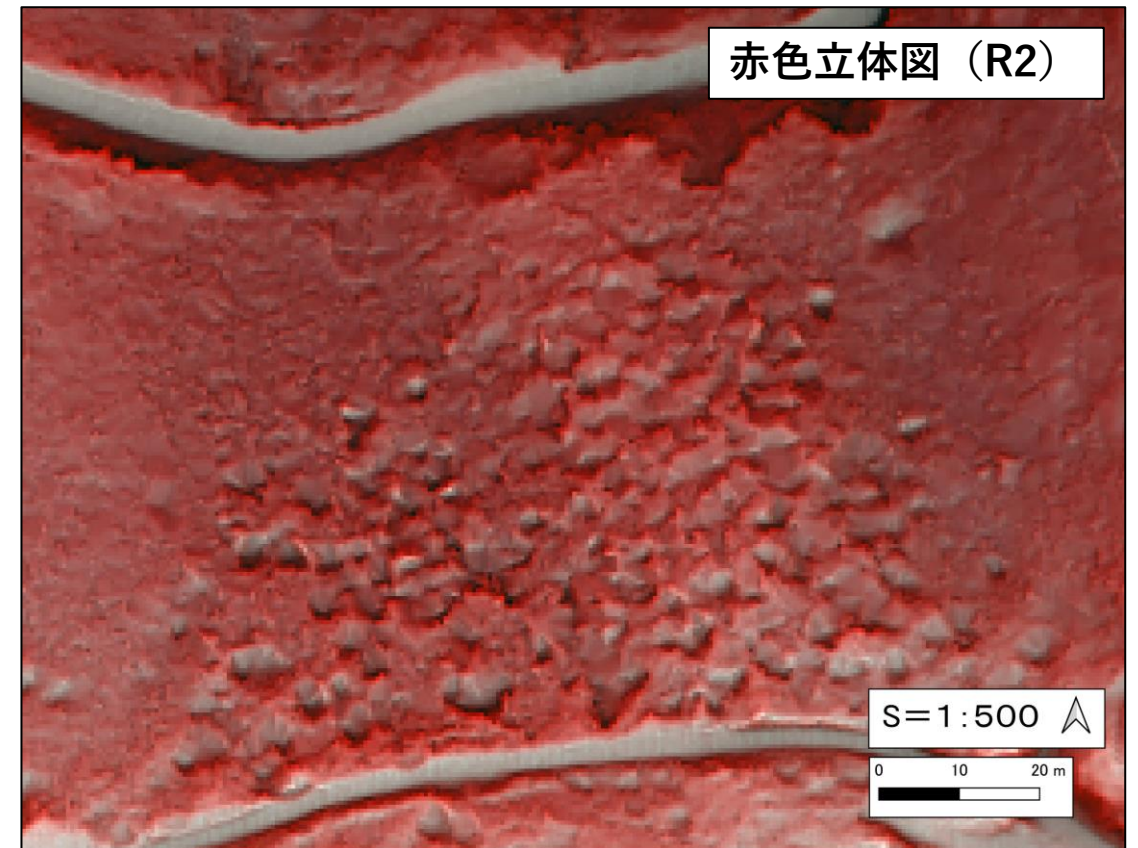
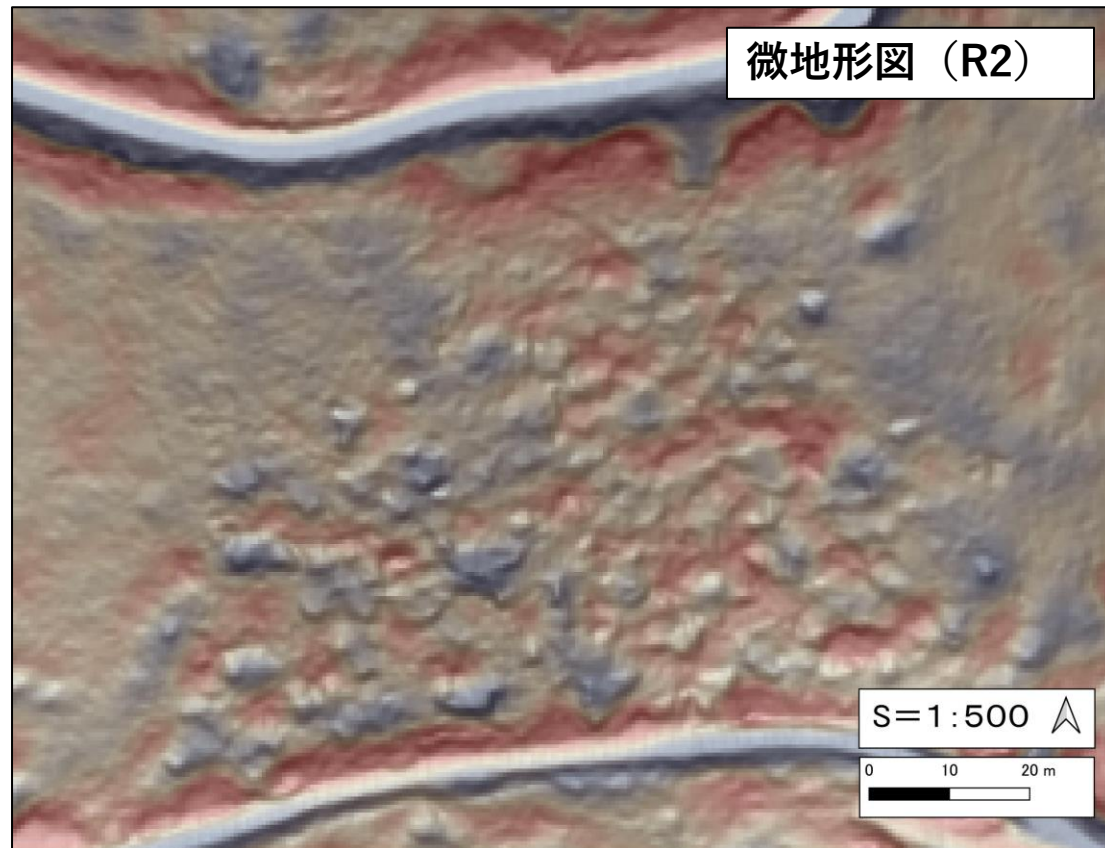
吉野町での一年間の取り組み

◆現地調査 – 崩壊地のオルソモザイク化 –



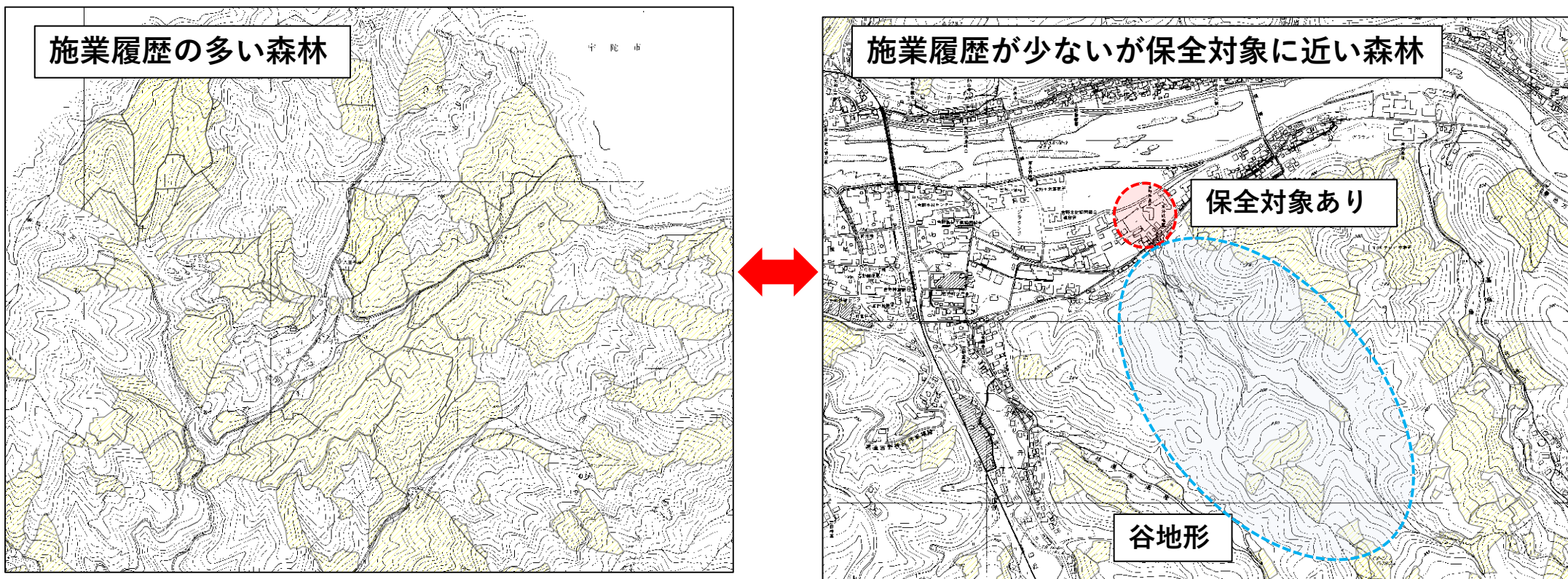
吉野町での一年間の取り組み

◆解析情報の確認 ～寝返り林分の危険性、路網排水の重要性～



今後の課題 ～境界明確化について～

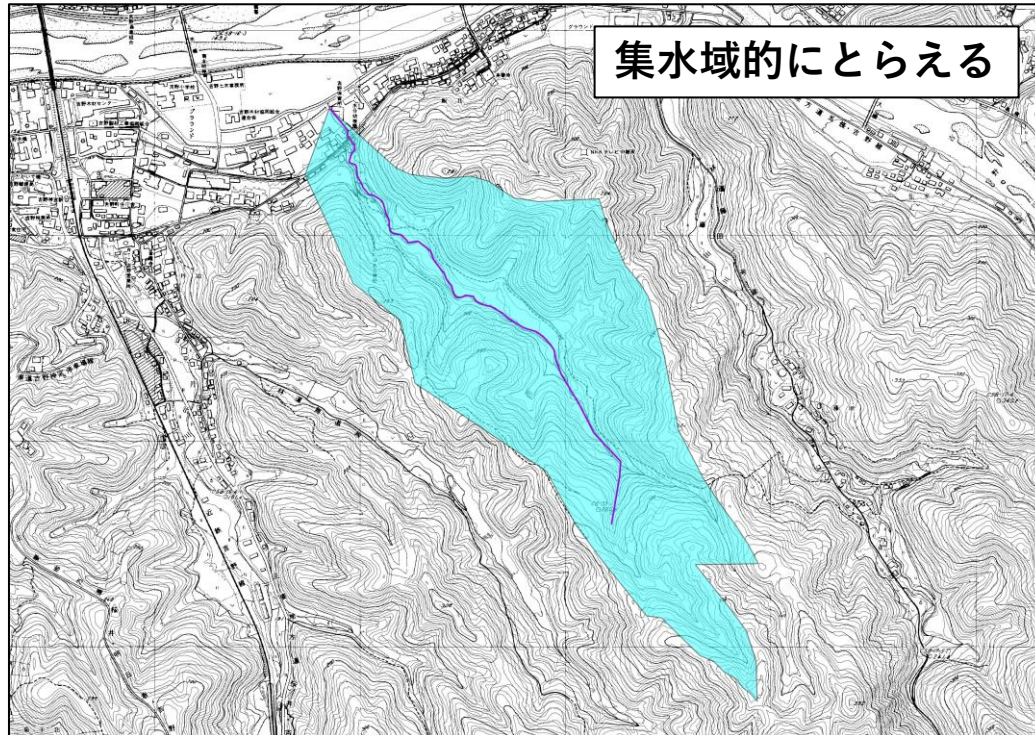
◆行政として「どのような基準」で森林管理に介入するか。



「所有者の意思」を確認し、地形や保全対象の関係性などから指標を持つ必要がある

今後の課題

◆情報を集約した先の森林管理（間伐・林相転換）を考える



「順応的な管理」が必要 → そのために様々な次元の情報を集約・蓄積